

京都大学大学院 教育学研究科からお知らせいたします。

来たる3月2日(日)、京都大学グローバル生存学(GSS)大学院協賛にて、Center for Therapeutic Assessment 創始者のスティーヴン・E・フィン博士をお迎えし、ロールシャッハ研修会を行います。

フィン博士の実際のフィードバック場面を映像で見ることができるなど、貴重な学びの機会ですので、ぜひ奮ってご参加ください。

「Using TA-C to Undo Severe Scapegoating of Children

子どもと家族の治療的アセスメントースケープゴートからの立ち直り」

治療的アセスメントとは、心理検査とそのフィードバック自体がクライアントに治療的に作用することを目指した心理アセスメントの新しいパラダイムです。クライアントが自分自身についてより深く理解し、抱えている根深い問題を解決することを支援します。

障害の診断、治療計画、そして介入効果の測定を目的とする伝統的な心理アセスメントから一歩先に進み、結果のフィードバックなどを通してクライアントに肯定的な変化をもたらすことが重視されます。

この治療的アセスメントの開発者であり、テキサス州オースティンの治療的アセスメント・センター創設者でもあるスティーヴン・E・フィン博士をお招きして、クライアント理解と心理的支援のプロセスをダイナミックに体験できる研修会(講演&ワークショップ・事例検討会)を開催いたします。

*日程：平成26年3月2日(日) 12時~17時

*場所：芝蘭会館 別館 研修室1

京都府京都市左京区吉田牛ノ宮町11-1

TEL：075-771-0958

<http://www.shirankai.or.jp/>

*参加費：無料

*詳細

講演&ワークショップ

講師：スティーヴン・E・フィン博士(治療的アセスメントセンター)

橋本忠行(札幌学院大学人文学部臨床心理学科准教授)

司会：工藤晋平(京都大学グローバル生存学大学院)

受付開始：11時30分

対象：心理臨床業務に携わる方、大学院生、その他関係領域に従事する方

定員：100名

*お申し込み

件名を「ワークショップ参加希望」とし、以下の5点を明記してメールでお申し込みください。

1.氏名(ふりがな) 2.所属 3.郵便番号、住所 4.電話番号(携帯番号可)

5.返信用メールアドレス

後日、メールにて参加の可否をお知らせいたします。

*申し込み期限：平成26年2月20日必着

*申込・お問い合わせ： finnproject2014@gmail.com

企画責任者：高橋靖恵(京都大学大学院 教育学研究科)